

「播磨国風土記」の世界  
宍粟郡の女神たち

多くの神社が、収穫を祝う秋祭りで賑わう10月。宍粟市でも、各地でにぎやかな祭り囃子が聞こえることでしょう。「播磨国風土記」の宍粟郡にあった「酒加里」は、国占めをする神が「喰（いひすか）」された、食事をなさったことに因みます。召し上がったのは、おいしい新米だったのかもしれない。

さて、酒加里は宍粟市山崎町須賀沢から姫路市安富町にかけての地域の古い里名で、風土記の時代には「安師里」と呼ばれていました。ある時、この里の安師比売という女神に伊和大神が求婚します。ところが、安師比売はその求婚を拒否、腹



▲かつて「ウルカ明神」「キサキ明神」と呼ばれた川崎稲荷神社

を立てた大神は岩で川をせき止め、「三形（御方里）」へ流れるようにしてしまいました。伊和大神と女神をめぐるエピソードの一つです。この話の背景には、安師比売を祀る勢力と伊和大神を祀る勢力との対立があったのではないのでしょうか。安師比売は、今、安富町三森の安志姫神社に祀られています。

宍粟市域では、一宮町を中心とする石作里の阿和賀山に大神の後、阿和加比売命がいました。残念ながら、一宮町のどの山かははっきりしません。また、一宮町閭賀にその名前を残す雲箇里には、伊和大神と考えられる「大神」の後、許乃波奈佐久



▲安師姫神社（安富町三森）

夜比売命がいました。許乃波奈佐久夜比売命が大変美しかった、「美麗」しかったので、「うるか」という里の名前が付いたのか。「閭賀さん」と親しまれる川崎稲荷神社には、木花咲耶姫命が配神として祀られています。

伊和大神の求婚を拒んだ安師比売の話と比べ、后であったとしか書かれていない阿和加比売命や許乃波奈佐久夜比売命の話には勢力争いの影が見えませんが、伊和神社が鎮座する石作里は伊和大神の本拠地であり、その北に位置する雲箇里も早くからその勢力圏だったの

（播磨学研究所研究員 植岡真弓）

おいでよ 図書館へ



宍粟市立図書館 ☎ 62-4620

蔵書点検のため休館

11月25日～11月30日は蔵書点検・整理のため休館いたします。

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



今月のオススメ

一度は行きたい日本の美城

著者／かみゆ歴史編集部  
紅葉の美しい秋月城、雲海に浮かぶ竹田城など、その城が最も美しく見える季節とスポットを紹介。  
歴史や特徴も簡潔にわかりやすくまとめられています。



柴犬まる

著者／小野 慎二郎  
ネット上で世界中から大人気の柴犬「まる」の写真集。  
まるの可愛い姿とともに、四季折々の日本各地の風景も写っており、日本の良さが感じられ、心が温まります。

図書館カレンダー

□ 休館日 □ 館内整理日(休館)

【開館時間】午前10時～午後5時30分

	日	月	火	水	木	金	土
10月	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	
11月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						

編集後記

運動会に行ってきました。卒業してから随分と経ちますが、雰囲気は変わりませんね。放射状に張られた万国旗。競技のスタートを告げる鉄砲の音。子どもたちの掛け声に観覧席からの声援…。こうした光景を見ると、まるでタイムスリップしたかのよう小学生の頃の気持ちがあふれてきます。そして、夢中になって走りたり演技したことが懐かしく思えます。目の前を一生懸命に走り抜けていく子どもたちを見ながら、そんな感傷に浸っていました。運動会は大人を童心に戻してくれる、そんな場所ですね。「皆さん、おつかれさまでした。楽しいひとときをありがとう」

真